(4) 指導指令式訓練

7月27日終車後、本線の上り線に支障が発生したことを想定し、お客さまの輸送を安全且つ迅速、正確に取扱うため、指導指令式による有人運転および、転てつ器手回し等の訓練を実施しました。

※指導指令式とは、複線区間で片線が不通となり、一線のみで運転することをいいます

訓練実施に対する直前ミーティング

指導指令式施行時の運転訓練状況

(5) 防災訓練

9月3日(防災週間中)、大規模な地震が発生したことを想定し、情報伝達訓練および運行している列車の駅一旦停止訓練を実施するとともに、車両基地にて車両非常口扉からの避難誘導訓練も実施しました。

避難誘導訓練状況

(6) 合同消防訓練

3月4日、金沢八景駅延伸開業(単線開業)に向けた取り組みとして、京浜急行電鉄、横浜市、金沢消防署、金沢警察署と当社の合同により、金沢八景新駅における消防訓練を実施しました。

合同消防訓練状況

(7) 社員全体研修

3月18日·19日·20日、全社員を対象に昨年度と引き続き「異常時コミュニケーション」をテーマとして、外部専門機関(鉄道総合技術研究所)から講師を招き、職場間の情報伝達やコミュニケーションの重要性などについて、研修を実施しました。

社員全体研修の実施状況

(8) お客さまへの啓発活動

当社線を更に安全にご利用いただけるよう、啓発活動として注意喚起の“うちわ”をお客さまへ配布しました。

うちわデザイン

6 輸送の安全を支える設備

輸送の安全を支える設備として、ホームドア、ITVモニター、CTC装置(列車集中制御装置)、ATC装置(自動列車制御装置)、ATO装置(自動列車運転装置)、気象観測装置(地震計·風速計)、非常停止ボタン、インターホン、防犯カメラ等を設置しています。

(1) 主な設備

㋐ ホームドア

線路への転落を防止するため、全駅のホームに整備しています。このホームドアは列車のドアと連動して開閉します。また、万が一お客様がドアに挟まれた場合には、再びドアが開く仕組みとなっています。

ホームドア

㋑ 防犯カメラ

お客さまに安心してご利用していただくため、犯罪予防を目的に全駅のホーム·コンコースおよび車内に設置し、常時録画しています。

車内防犯カメラ

ホーム防犯カメラ

㋒ 非常停止ボタンおよびインターホン

緊急時に備え、全駅のホーム中程および電車の各客室に設置しています。

駅ホームの非常停止ボタンおよびインターホン

電車内の非常停止ボタンおよびインターホン

7 お客様へのお願い

(1) 不審物を発見された場合は手を触れずに、お近くの駅係員または、インターホンにてお知らせください。

(2) 発車間際の駆け込み乗車は大変危険です。無理をせず次の電車をお待ちください。また、閉まりかけたドアへ杖や傘等を挟まないようにお願いいたします。万が一、挟まれてしまった場合は、無理に引き抜かず、車内または、ホームのインターホンにてお知らせください。

(3) 電車内で体調が優れないときは、無理をせず早めに車内インターホンまたは、駅係員へお知らせください。

(4) 電車は危険回避のため、急ブレーキをかける場合がございます。車内では、つり革、手すりにおつかまりいただきますようお願いいたします。

8 お問い合わせ

この安全報告書に対するご意見·ご感想などをお寄せください。

運　輸　課……Tel　045−787−7016
(平日 9:00〜17:20)
総　務　課……Tel　045−787−7002
(平日 9:00〜17:20)
ホームページ……「よくあるご質問」
http://www.seasideline.co.jp

2019 安全報告書

株式会社横浜シーサイドライン

1 ご利用のお客様へ

日頃よりシーサイドラインをご利用いただきまして、誠に有難うございます。

2019年6月1日(土)に新杉田駅で発生した事故により、お怪我をされたお客さまにお見舞いとお詫びを申し上げます。一日も早い快癒をお祈りいたしております。

また、今回の事故により、多くのお客さまと関係者の皆さまにご迷惑とご心配をおかけしていることにつきまして重ねて深くお詫び申し上げます。

2018年度は、安全重点施策に『教育訓練とコミュニケーションの充実』を掲げ、金沢八景駅延伸関連事業を確実に遂行するため、引き続きコミュニケーションを充実させ、全社員一丸となって取り組むとともに、教育・訓練の質を高め、安全意識の高揚ならびに、知識の向上を図った結果、開業以来の"無事故"の継続を達成することができました。これもひとえに、ご利用いただいている皆さまのご理解とご協力の賜物と感謝いたしております。

安全運行を確保するため、前年度に引き続き車両前照灯のLED化、車両前方モニタカメラの導入の着手等、列車運行に係る安全対策を着実にすすめ、安全、安定輸送の確保に取り組みました。

金沢シーサイドライン延伸工事につきましては、駅舎内装等のインフラ外工事が完了し、2019年3月31日に金沢八景駅新駅の単線開業をいたしました。

本報告書は、2018年度における輸送の安全に対する取り組み等を、皆さまに広く紹介するために作成いたしました。本報告をご一読いただき、ご意見・ご感想をいただけましたら幸いです。

なお、新杉田駅で発生した事故につきましては、発生原因の究明と確実な再発防止対策を進めた上で、2019年度版にてご報告させていただきます。

引き続きお客さまの信頼回復に向けて、全社員一丸となって取り組んでまいります。

代表取締役社長　三上 章彦

経営理念

1. 私たちは、公共交通機関に携わる者としての自覚を持ち、安全第一を最優先とします。
2. 私たちは、常にお客様へのサービスを心がけ、感謝の気持ちを忘れずに信頼を高めます。
3. 私たちは、一人ひとりが自己研鑽に励み、責任を自覚し、自立した企業を目指します。

2 安全方針

当社では、輸送の安全を確保するための安全方針を下記のとおり掲げ、社員全員に周知・徹底しています。

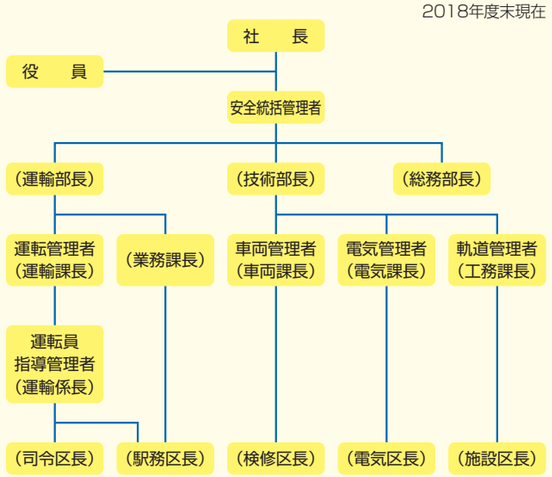
(1) 安全の確保は輸送の生命である。
(2) 規程の遵守は安全の基礎である。
(3) 執務の厳正は安全の要件である。
(4) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、すみやかに安全適切な処置を取る。
(5) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保する。
(6) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦する。

3 安全管理体制

社長をトップとする安全管理体制を構築しており、各責任者の責務を明確にし、それぞれが安全確保のための役割を担っています。

■ 安全管理体制図 ■

2018年度末現在



役　職	役　割
社　長	輸送の安全の確保に関する最終的な責任を負う。
安全統括管理者	輸送の安全の確保に関する業務を統括する。
運転管理者	安全統括管理者の指揮の下、運転に関する事項を統括する。
運転員指導管理者	運転管理者の指揮の下、運転員の資質の保持に関する事項を管理する。
車両管理者	安全統括管理者の指揮の下、車両に関する事項を統括する。
電気管理者	安全統括管理者の指揮の下、電気に関する事項を統括する。
軌道管理者	安全統括管理者の指揮の下、軌道施設に関する事項を統括する。
総務部長	輸送の安全の確保に必要な設備投資、人事、財務に関する事項を統括する。

4 2018年度輸送障害・事故等について

(1) 鉄道運転事故
(衝突、脱線、火災など、または死傷者の発生に至る事故)

鉄道運転事故の発生はありませんでした。

(2) 輸送障害
(列車の運休、または旅客列車の場合は30分以上の遅延が発生したもの)

輸送障害の発生はありませんでした。

(3) インシデント
(鉄道運転事故が発生するおそれがあると認められるもの)

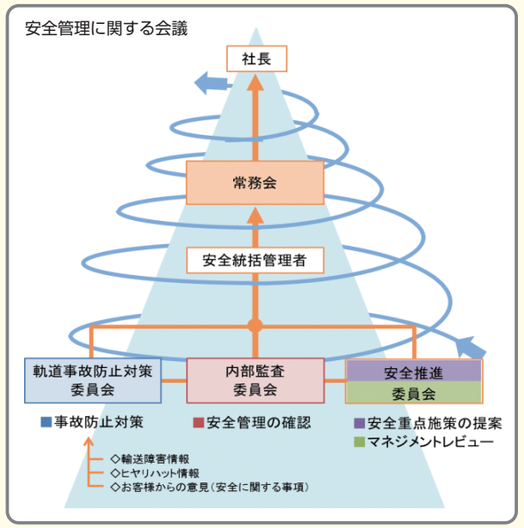
インシデントの発生はありませんでした。

5 安全を支える取り組みについて

(1) 安全管理に関する会議

社長を委員長とし、安全統括管理者をはじめとする全部長、課長、現業区長が委員として参画している軌道事故防止対策委員会において、安全に関する様々な調査や審議を行っており、その情報は各管理職を通じて社員一人ひとりにまで伝達しています。

また、安全統括管理者を委員長とした内部監査委員会、安全推進委員会の内容についても軌道事故防止対策委員会で報告され情報共有を図っています。



(2) 充実したコミュニケーションの状況

社長、運輸部長および技術部長は、夏季および年末年始の輸送安全総点検等の機会を捉えて、安全の重要性を現業の社員に伝えるとともに、日常業務に対するマンネリ化を防止するため、日頃より各職場へ出向いて現業とのコミュニケーションが充実できるように取り組む等、安全管理態勢に主体的かつ積極的に関与しています。

【社長の巡視状況】

駅務区

検修区

【部長の巡視状況】

運輸部長の巡視状況
(駅務区)

技術部長の巡視状況
(検修区との意見交換会)

(3) 軌道事故復旧訓練

11月2日、大地震が発生したことを想定して対策本部を立上げ、「軌道事故・災害対策規程」に基づき、対策本部長(社長)を中心とした対策本部設置訓練と併せて、車両から車いす利用のお客さまの避難誘導訓練を実施しました。

対策本部設置訓練

車両避難誘導訓練
(車いす利用者)